

福島県

1. 商品名等

商品名	満福パン	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
		<p>非常食としても重宝な（賞味期限5年）福島商業高校の校舎をデザインした『満福パン』を開発しました。食べ応えあり満腹で満足になる福あるパンです。福祉施設等で製造・包装していただき社会貢献。売上の10%を震災より13年経った今でも復興半ばの浪江町等に寄付する地域貢献の目的も込めました。居間やリビングに置いて福島商業高校の話題に花を咲かせてください。</p> <p>『満福パン』300円（税込） 令和6年6月より販売開始。 学校販売中。</p>

2. 学校紹介

学校名	福島県立福島商業高等学校	電話	024-533-3451
住所	福島県福島市丸子字辰ノ尾1番地	FAX	024-554-1589
担当者	鈴木政直		
URL	http://www.fukushima-ch.fcs.ed.jp		
E-mail	school@fukushima-ch.fcs.ed.jp		
<p>本校では、校訓である「信義」「全力」「不撓不屈」の精神のもと、2万7千名を超える卒業生を世に送り出し、地元経済界はもとより、全国各地で活躍する多くの有益な人材を育成している。</p> <p>現在も商業に関する高い知識と技術を身に付け、豊かな心とたくましい力を持って激動する経済社会に貢献できる人材の育成に努める教育方針のもと、「情報ビジネス科」「経営ビジネス科」「会計ビジネス科」の3学科の特色を生かし、生徒一人一人を大切にしている教育を基本姿勢としている。商品開発については、流通・サービス等のビジネスに関する知識・技術習得に取り組んでいる経営ビジネス科の生徒で「商品開発同好会（3年生6名 1年生3名）」の部活動、「商品開発と流通（経営ビジネス科3年選択）」の授業を通し、高校生の柔軟な発想で出たアイデアを活用して地域活性化に役立つ活動を行っている。</p>			

3. 実施科目等

科目名	商品開発同好会	単位数	部活動
対象生徒	3年生（6名） 1年生（3名）	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

なし

5. 開発経緯等

令和6年4月からの「商品開発同好会」の9名で、初めに、どのような商品を作りたいのか考えました。

まず、第一に、福島市には浪江町役場の出張所があります。震災より13年経った今でも、浪江町の住民は10分の1しか戻れず、町には病院も診療所が1件、スーパーマーケットも1件しかなく、住み慣れた町を離れ、生活に便利な福島市などに移住している現状を知り、「私たちができる福島県の復興」を願い、売上の一部を復興半ばの浪江町などに寄付することにしました。災害時にも食べられるような賞味期限の長いもので全国に広げたい。校舎をパッケージにして、居間やリビングなどに置いて福島商業高校の話題に花を咲かせて欲しい。さらに、北海道の福祉施設で製造、福島県矢吹町の授産施設で包装を依頼することで社会貢献。復興半ばの浪江町などに寄付することで地域貢献の目的も込め、多くの想いの込め、多くの付加価値もあり、愛着ある商品を作ることにしました。

私たちは、商業の学びを生かし、

- ・「福島復興と食の安全を全国にPRする」
- ・「社会貢献と地域貢献、さらに地域活性化につなげる」

ことを意識しました。

商品開発を好んで集まった部活動の生徒たちが、大好きな商品開発と販売活動を通して、社会貢献や地域貢献、福島県の復興に役立つ活動につながればと思っています。

また、自分たちで販売することで、パッケージデザインから試作・試食を繰り返し、見た目と味の選定にこだわり開発した商品から販売促進活動までを通して、販売スキルやコミュニケーション能力の向上も目的として、生徒たちが主体的に活動し成長することを意識した教育活動につなげています。

6. 販売形態・期間

①

福島県内道の駅や県内外イベント等でも販売実績があり、
今後も生徒による販売を継続。
福島商業高校にて常時販売。

無

7. 協力者等

①

あすなろ福祉会（北海道）製造
ヨコエ（愛知県）販売元
わーくる矢吹（福島県矢吹町）包装

無

8. 商標登録の有無

有

無

9. 今後の課題・展望等

賞味期限は製造から5年あり、季節に左右されず、気温の変化や保存方法に気遣いなく安心して販売することができるので、いかに販売を継続していくかが課題である。地域の期待は高く、県内外のイベントで販売する機会があり、生徒の販売等のスキルアップとプレゼンテーション能力の向上と成長に活かしていきたい。

県内外の高校等の注文もいただき全国にPRしていきたい。